

令和2年度

収支決算書

令和2年4月1日  
～  
令和3年3月31日

一般財団法人**省エネルギーセンター**

## 概 況

令和2年度において当センターは、折から発生したコロナ禍の中で円滑に省エネ活動を行うことが求められました。このため、事業運営においては、コロナ対策として、会議や講習、更には日常の業務連絡等をできるだけオンライン等を活用して実施するとともに、国家試験等の実施に際しては感染防止に万全を期しました。

一方、コロナ禍という危機の中でも、エネルギーを巡っては、特に地球温暖化防止の観点から「カーボンニュートラル」の実現への関心が高まり、この対応として「非化石エネルギーへの転換」とともに「徹底した省エネ」がより重要となりました。

以上のような状況のもと当センターは、令和2年度事業計画に従って、次のように国内外の省エネを積極的に推進しました。

### I. 「低炭素・脱炭素」に向けた省エネ活動への支援強化

「徹底した省エネ」の観点から、中小企業等向けに実施した省エネ診断等を通じて幅広く技術的な指導・助言を行うとともに、その結果得られた知見・着眼点を水平展開するべく積極的に情報提供を行いました。

さらに、これまで蓄積した技術・手法を活かして、CO2削減ポテンシャルに係る診断の支援や調査を行いました。

### II. 省エネ情報発信の充実

「低炭素・脱炭素」に向けた企業等のニーズに応じて「徹底した省エネ」と「省エネにおけるイノベーション」を推進するため、「省エネ大賞」、総合展示会「ENEX2021」等の媒体を通じて、関連する製品、技術・ノウハウ、ビジネスモデル、活動事例等の有益な情報を発信しました。

### III. 省エネ支援サービスの充実

進展の著しいIoT等を活用しつつ、企業等のニーズに即応した最適な省エネ・ソリューションを提供しました。

また、「低炭素・脱炭素」に向け、産業、ビル・家庭等における省エネ活動の中核人材等を育成するためオンライン等を活用しつつ教育事業や資格認定を実施しました。

### IV. 省エネ国際協力の推進

新興国や資源国等における省エネをコロナ禍の制約の中で促進するため、オンラインを活用しつつ専門家による指導・助言、研修生への講義等を実施しました。

また、我が国の優れた省エネ等技術を海外へ普及するため、官民一体となって設立された「世界省エネルギー等ビジネス推進協議会」の活動を支援しました。

### V. 国家試験等の実施

省エネ法に基づくエネルギー管理士、エネルギー管理企画推進者及びエネルギー管理員に係る資格に関し、それぞれ所定の試験・研修・講習をコロナ対策に万全を期しつつ厳正かつ円滑に実施しました。

令和2年度事業については、コロナ禍の影響を受け、規模の大幅な縮小等を余儀なくされましたが、今後はこのような中で工夫したオンライン活用等による新しいビジネスモデルを進化させつつ、「徹底した省エネ」更には「カーボンニュートラル」を念頭においた事業の刷新・拡大、広報活動・情報発信力の強化等を通じて、より効果的な省エネ推進と健全な財務状況の両立を図ってまいります。

なお、公益法人から移行した一般財団法人として、令和2年度も公益目的支出計画の着実な実行に努めました。

# 収 支 決 算 書

## 貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金及び預貯金	298,793,533	168,577,426	130,216,107
未収金	547,086,999	729,282,294	△ 182,195,295
未収利息	1,479,801	1,496,196	△ 16,395
売掛金	7,622,154	11,015,943	△ 3,393,789
商品	1,614,512	2,600,440	△ 985,928
製品	10,589,429	12,858,466	△ 2,269,037
仕掛品	4,729,367	1,750,980	2,978,387
貯蔵品	251,710	1,292,318	△ 1,040,608
前払金	16,419,708	20,071,243	△ 3,651,535
<b>流動資産 合計</b>	<b>888,587,213</b>	<b>948,945,306</b>	<b>△ 60,358,093</b>
<b>2. 固定資産</b>			
<b>(1) 基本財産</b>			
投資有価証券	248,729,864	248,656,357	73,507
定期預金	226,270,136	226,343,643	△ 73,507
<b>基本財産 合計</b>	<b>475,000,000</b>	<b>475,000,000</b>	<b>0</b>
<b>(2) 特定資産</b>			
運営強化等積立資産	1,695,116,760	1,806,601,883	△ 111,485,123
退職給付積立資産	149,959,000	198,384,200	△ 48,425,200
<b>特定資産 合計</b>	<b>1,845,075,760</b>	<b>2,004,986,083</b>	<b>△ 159,910,323</b>
<b>(3) その他の固定資産</b>			
造 作	8,934,511	11,949,147	△ 3,014,636
什器備品	560,652	1,371,858	△ 811,206
機械装置	3,518,450	4,916,317	△ 1,397,867
ソフトウェア	2,610,024	4,690,385	△ 2,080,361
電話加入権	2,841,592	2,841,592	0
保証金	54,652,846	55,957,116	△ 1,304,270
<b>その他の固定資産合計</b>	<b>73,118,075</b>	<b>81,726,415</b>	<b>△ 8,608,340</b>
<b>固定資産 合計</b>	<b>2,393,193,835</b>	<b>2,561,712,498</b>	<b>△ 168,518,663</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>3,281,781,048</b>	<b>3,510,657,804</b>	<b>△ 228,876,756</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
短期借入金	500,000,000	500,000,000	0
未払金	127,396,375	188,874,546	△ 61,478,171
会費前受金	61,619,010	65,139,010	△ 3,520,000
前受金	12,977,540	13,727,510	△ 749,970
預り金	9,548,121	11,821,736	△ 2,273,615
賞与引当金	10,563,472	10,902,131	△ 338,659
返品調整引当金	29,000	127,000	△ 98,000
単行本在庫調整引当金	53,734	146,324	△ 92,590
<b>流動負債 合計</b>	<b>722,187,252</b>	<b>790,738,257</b>	<b>△ 68,551,005</b>
<b>2. 固定負債</b>			
退職給付引当金	149,959,000	198,384,200	△ 48,425,200
リース債務	0	415,428	△ 415,428
<b>固定負債 合計</b>	<b>149,959,000</b>	<b>198,799,628</b>	<b>△ 48,840,628</b>
<b>負債 合計</b>	<b>872,146,252</b>	<b>989,537,885</b>	<b>△ 117,391,633</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1. 指定正味財産</b>			
民間補助金	375,000,000	375,000,000	0
民間寄付金	325,000,000	325,000,000	0
<b>指定正味財産 合計</b>	<b>700,000,000</b>	<b>700,000,000</b>	<b>0</b>
(うち基本財産への充当額)	( 475,000,000 )	( 475,000,000 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 225,000,000 )	( 225,000,000 )	( 0 )
<b>2. 一般正味財産</b>	<b>1,709,634,796</b>	<b>1,821,119,919</b>	<b>△ 111,485,123</b>
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 1,470,116,760 )	( 1,581,601,883 )	( △ 111,485,123 )
<b>正味財産合計</b>	<b>2,409,634,796</b>	<b>2,521,119,919</b>	<b>△ 111,485,123</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>3,281,781,048</b>	<b>3,510,657,804</b>	<b>△ 228,876,756</b>

注) 実施事業資産は、以下のとおりである。

未収金 457,816,296円

# 正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	2,349,978	2,355,096	△ 5,118
② 特定資産運用益	4,996,139	4,753,873	242,266
③ 賛助会費	147,108,500	150,807,500	△ 3,699,000
④ 事業収益	529,991,193	668,910,868	△ 138,919,675
試験・講習事業収益	364,433,150	456,653,750	△ 92,220,600
出版事業収益	69,099,660	76,435,787	△ 7,336,127
通信教育・講座等事業収益	43,864,810	73,124,822	△ 29,260,012
その他事業収益	52,593,573	62,696,509	△ 10,102,936
⑤ 受取補助金等収益	1,010,439,545	1,514,037,059	△ 503,597,514
国庫補助金収益	407,163,995	475,195,794	△ 68,031,799
受託収益	603,275,550	1,038,841,265	△ 435,565,715
⑥ 雑収益	51,189,077	83,580	51,105,497
受取利息	8,333	9,466	△ 1,133
雑収益	51,180,744	52,848	51,127,896
引当金戻入益	0	21,266	△ 21,266
<b>経常収益計</b>	<b>1,746,074,432</b>	<b>2,340,947,976</b>	<b>△ 594,873,544</b>
(2) 経常費用			
① 事業費	1,651,192,312	2,157,167,780	△ 505,975,468
給与手当等	462,539,607	560,645,574	△ 98,105,967
臨時雇用員費	381,713,055	410,529,905	△ 28,816,850
旅費交通費	25,491,762	134,174,075	△ 108,682,313
機器賃借料	19,219,190	11,683,543	7,535,647
諸謝金	132,484,335	189,054,222	△ 56,569,887
会場費	96,304,815	110,511,467	△ 14,206,652
印刷製本費	84,701,781	100,591,794	△ 15,890,013
外注委託費	115,372,346	227,015,670	△ 111,643,324
その他事業費	333,365,421	412,961,530	△ 79,596,109
② 管理費	189,999,863	139,466,281	50,533,582
給与手当等	158,784,842	115,154,271	43,630,571
臨時雇用員費	16,996,106	15,583,365	1,412,741
減価償却費	7,386,741	8,479,134	△ 1,092,393
事務所等賃借料	108,856,869	105,986,912	2,869,957
租税公課	30,872,573	95,667,470	△ 64,794,897
短期借入金利息	87,260	74,794	12,466
その他事務費	54,103,950	47,002,960	7,100,990
事業費への事務費振替額	△ 187,088,478	△ 248,482,625	61,394,147
<b>経常費用計</b>	<b>1,841,192,175</b>	<b>2,296,634,061</b>	<b>△ 455,441,886</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 95,117,743</b>	<b>44,313,915</b>	<b>△ 139,431,658</b>
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
(2) 経常外費用			
固定資産除却費用	0	5,500	△ 5,500
雑損失	16,367,380	0	16,367,380
<b>経常外費用計</b>	<b>16,367,380</b>	<b>5,500</b>	<b>16,361,880</b>
<b>当期経常外増減額</b>	<b>△ 16,367,380</b>	<b>△ 5,500</b>	<b>△ 16,361,880</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 111,485,123</b>	<b>44,308,415</b>	<b>△ 155,793,538</b>
<b>一般正味財産期首残高</b>	<b>1,821,119,919</b>	<b>1,776,811,504</b>	<b>44,308,415</b>
<b>一般正味財産期末残高</b>	<b>1,709,634,796</b>	<b>1,821,119,919</b>	<b>△ 111,485,123</b>
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
1. 基本財産運用益			
投資有価証券利息	2,349,978	2,355,096	△ 5,118
2. 特定資産運用益			
投資有価証券利息	860,765	866,167	△ 5,402
3. 一般正味財産への振替額	△ 3,210,743	△ 3,221,263	10,520
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>指定正味財産期首残高</b>	<b>700,000,000</b>	<b>700,000,000</b>	<b>0</b>
<b>指定正味財産期末残高</b>	<b>700,000,000</b>	<b>700,000,000</b>	<b>0</b>
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>2,409,634,796</b>	<b>2,521,119,919</b>	<b>△ 111,485,123</b>

科目	実施事業等会計						小計	その他会計						法人会計	合計	
	継続-1	継続-2	継続-3	継続-4	継続-5	共通		その他-1	その他-2	その他-3	その他-4	その他-5	その他-6			
	産業における省エネ政策推進事業	家庭、地域等における省エネ政策推進事業	国際協力・活動政策の推進事業	省エネ大賞表彰事業	エネマネ管理士試験・講習関連調査事業		産業における省エネ推進事業	家庭、地域等における省エネ推進事業	省エネ関連人材の育成推進事業	エネマネ管理士試験・講習事業	国際協力・活動の推進事業	その他事業				
<b>I 一般正味財産増減の部</b>																
1、経常増減の部																
(1) 経常収益																
① 基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,349,978	2,349,978
② 特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,996,139	4,996,139
③ 扶助会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	147,108,500	147,108,500
④ 事業収益	0	0	0	31,802,454	0	0	31,802,454	0	10,679,163	44,814,690	364,433,150	0	78,261,736	498,188,739	0	529,991,193
試験・講習事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	364,433,150	0	0	364,433,150	0	364,433,150
出版事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	69,099,660	69,099,660	0	69,099,660
通信教育・講座等事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43,864,810	0	0	0	43,864,810	0	43,864,810
その他事業収益	0	0	0	31,802,454	0	0	31,802,454	0	10,679,163	949,880	0	0	9,162,076	20,791,119	0	52,593,573
⑤ 受取補助金等収益	507,640,436	79,416,715	320,390,293	0	0	0	907,447,444	52,144,144	21,199,406	18,353,908	0	9,765,643	1,529,000	102,992,101	0	1,010,439,545
国庫補助金収益	407,163,995	0	0	0	0	0	407,163,995	0	0	0	0	0	0	0	0	407,163,995
受託収益	100,476,441	79,416,715	320,390,293	0	0	0	500,283,449	52,144,144	21,199,406	18,353,908	0	9,765,643	1,529,000	102,992,101	0	603,275,550
⑥ 雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51,189,077	51,189,077
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,333	8,333
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51,180,744	51,180,744
<b>経常収益計</b>	507,640,436	79,416,715	320,390,293	31,802,454	0	0	939,249,898	52,144,144	31,878,569	63,168,598	364,433,150	9,765,643	79,790,736	601,180,840	205,643,694	1,746,074,432
(2) 経常費用																
① 事業費	540,610,574	84,479,729	331,246,505	35,244,175	376,294	0	991,957,277	36,401,140	31,408,016	82,444,007	393,659,170	3,952,346	111,370,356	659,235,035	0	1,651,192,312
給与手当	161,986,971	39,248,760	96,791,548	11,718,506	319,016	0	310,064,801	15,391,291	17,061,123	34,895,665	56,747,753	1,036,573	27,342,401	152,474,806	0	462,539,607
臨時雇員費	148,363,195	17,639,907	88,182,057	3,261,753	0	0	257,446,912	6,119,410	5,091,292	16,503,913	82,265,436	377,297	13,908,795	124,266,143	0	381,713,055
旅費交通費	16,237,864	181,307	188,206	2,676,032	0	0	19,283,409	1,480,728	377,008	1,269,490	2,968,839	4,408	107,880	6,208,353	0	25,491,762
機器貸料	3,465,570	0	10,922,716	0	0	0	14,388,286	60,500	102,080	135,686	4,123,761	117,150	291,727	4,830,904	0	19,219,190
謝礼金	89,114,949	427,130	886,365	2,704,780	0	0	93,133,224	1,347,690	1,060,489	4,428,852	31,541,100	418,510	554,470	39,351,111	0	132,484,335
会場費	599,106	15,900	13,735,730	957,554	0	0	15,308,290	0	68,540	2,179,247	78,165,076	484,792	98,870	80,996,525	0	96,304,815
印刷製本費	6,706,567	2,102,315	8,034,246	2,313,025	0	0	19,156,153	0	568,542	2,018,872	28,581,961	640,368	33,735,885	65,545,628	0	84,701,781
外注委託費	15,323,872	9,879,273	58,976,149	828,850	0	0	85,008,144	3,823,210	770,000	2,162,765	14,283,838	178,420	9,145,969	30,364,202	0	115,372,346
その他事業費	98,812,480	14,985,137	53,529,488	10,783,675	57,278	0	178,168,058	8,178,311	6,308,942	18,849,517	94,981,406	694,828	26,184,359	155,197,363	0	333,365,421
② 管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	189,999,863	189,999,863
給与手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	158,784,842	158,784,842
臨時雇員費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16,996,106	16,996,106
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,386,741	7,386,741
事務所等賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	108,856,869	108,856,869
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30,872,573	30,872,573
短期借入金利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	87,260	87,260
その他事務費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54,103,950	54,103,950
事業費への事務費振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 187,088,478	△ 187,088,478
<b>経常費用計</b>	540,610,574	84,479,729	331,246,505	35,244,175	376,294	0	991,957,277	36,401,140	31,408,016	82,444,007	393,659,170	3,952,346	111,370,356	659,235,035	189,999,863	1,841,192,175
<b>当期経常増減額</b>	△ 32,970,138	△ 5,063,014	△ 10,856,212	△ 3,441,721	△ 376,294	0	△ 52,707,379	15,743,004	470,553	△ 19,275,409	△ 29,226,020	5,813,297	△ 31,579,620	△ 58,054,195	15,643,831	△ 95,117,743
2、経常外増減の部																
(1) 経常外収益																
<b>経常外収益計</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(1) 経常外費用																
雑損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16,367,380	16,367,380
<b>経常外費用計</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16,367,380	16,367,380
<b>当期経常外増減額</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 16,367,380	△ 16,367,380
<b>当期一般正味財産増減額</b>	△ 32,970,138	△ 5,063,014	△ 10,856,212	△ 3,441,721	△ 376,294	0	△ 52,707,379	15,743,004	470,553	△ 19,275,409	△ 29,226,020	5,813,297	△ 31,579,620	△ 58,054,195	△ 111,485,123	△ 111,485,123
<b>一般正味財産期首残高</b>	△ 475,247,117	△ 57,936,572	△ 158,915,456	△ 26,823,226	△ 24,844,406	1,519,032,148	775,265,371	268,838,262	83,469,261	△ 20,645,968	543,094,521	98,621,078	△ 313,761,413	659,615,741	386,238,807	1,821,119,919
<b>一般正味財産期末残高</b>	△ 508,217,255	△ 62,999,586	△ 169,771,668	△ 30,264,947	△ 25,220,700	1,519,032,148	722,557,992	284,581,266	83,939,814	△ 39,921,377	513,868,501	104,434,375	△ 345,341,033	601,561,546	385,515,258	1,709,634,796
<b>II 指定正味財産増減の部</b>																
1、基本財産運用益																
投資有価証券利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,349,978	2,349,978
2、特定資産運用益																
投資有価証券利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	860,765	860,765
3、一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 3,210,743	△ 3,210,743
<b>当期指定正味財産増減額</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>指定正味財産期首残高</b>	0	0	0	0	0	700,000,000	700,000,000	0	0	0	0	0	0	0	0	700,000,000
<b>指定正味財産期末残高</b>	0	0	0	0	0	700,000,000	700,000,000	0	0	0	0	0	0	0	0	700,000,000
<b>III 正味財産期末残高</b>	△ 508,217,255	△ 62,999,586	△ 169,771,668	△ 30,264,947	△ 25,220,700	2,219,032,148	1,422,557,992	284,581,266	83,939,814	△ 39,921,377	513,868,501	104,434,375	△ 345,341,033	601,561,546	385,515,258	2,409,634,796

## 財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

当該事業年度は、「公益法人会計基準(平成20年4月11日(平成21年10月16日改正)内閣府公益認定等委員会)」を採用している。

### 1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的の債券 個別法による償却原価法を採用している。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
①製品、仕掛品 個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）  
②商品、貯蔵品 最終仕入原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）
- (3) 固定資産の減価償却の方法  
①有形固定資産（リース資産を除く）  
イ. 造作 定額法  
ロ. 造作以外の有形固定資産 定率法  
②無形固定資産（リース資産を除く）  
ソフトウェア（自社利用分） 定額法（5年間）  
③リース資産  
所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
自己所有の固定資産に適用する減価償却の方法と同一の方法
- (4) 引当金の計上基準  
①貸倒引当金 債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。  
②賞与引当金 職員への賞与の支払いに備えるため、支給見込額のうち当期に属する額を計上している。  
③返品調整引当金 出版物の返品による損失に備えるため、書籍等の出版事業に係る売掛金残高に一定期間の返品率及び売買利益率を乗じた額を計上している。  
④単行本在庫調整引当金 単行本の陳腐化による損失に備えるため、出版部数に対する一定期間の販売部数を算定基礎とした評価損失見込み額を計上している。  
⑤退職給付引当金 役員及び職員の退職給付に備えるため、当期末における期末要支給額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理  
税込方式を採用している。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
<b>基本財産</b>				
投資有価証券	248,656,357	73,507	0	248,729,864
定期預金	226,343,643	0	73,507	226,270,136
小 計	475,000,000	73,507	73,507	475,000,000
<b>特定資産</b>				
運営強化等積立資産	1,806,601,883	0	111,485,123	1,695,116,760
退職給付積立資産	198,384,200	0	48,425,200	149,959,000
小 計	2,004,986,083	0	159,910,323	1,845,075,760
合 計	2,479,986,083	73,507	159,983,830	2,320,075,760

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
<b>基本財産</b>				
投資有価証券	248,729,864	(248,729,864)	(0)	(0)
定期預金	226,270,136	(226,270,136)	(0)	(0)
小 計	475,000,000	(475,000,000)	(0)	(0)
<b>特定資産</b>				
運営強化等積立資産	1,695,116,760	(225,000,000)	(1,470,116,760)	(0)
退職給付積立資産	149,959,000	(0)	(0)	(149,959,000)
小 計	1,845,075,760	(225,000,000)	(1,470,116,760)	(149,959,000)
合 計	2,320,075,760	(700,000,000)	(1,470,116,760)	(149,959,000)

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
造作	28,932,573	19,998,062	8,934,511
什器備品	26,542,179	25,981,527	560,652
機械装置	13,874,432	10,355,982	3,518,450
合 計	69,349,184	56,335,571	13,013,613



5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
<b>基本財産</b>			
第8回利付国債(H27.12.22取得)	49,781,847	60,855,000	11,073,153
第267回日本高速道路保有・債務返済機構債券(H28.1.26取得)	99,850,235	108,100,000	8,249,765
第57回地方公共団体金融機構債券(H29.3.14取得)	99,097,782	102,728,900	3,631,118
<b>特定資産</b>			
第519回中部電力社債(H29.2.24取得)	99,662,467	103,960,000	4,297,533
第159回利付国債(H29.3.13取得)	9,916,512	10,395,750	479,238
第78回利付国債(H17.6.16取得)	73,000,000	79,219,600	6,219,600
第78回利付国債(H18.1.18取得)	26,953,215	29,300,400	2,347,185
第8回利付国債(H27.12.21取得)	59,868,595	73,028,760	13,160,165
第237回日本高速道路保有・債務返済機構債券(H28.3.16取得)	213,193,733	217,320,000	4,126,267
第517回東北電力社債(グリーンボンド)(R2.2.27取得)	100,000,000	100,060,000	60,000
合 計	831,324,386	884,968,410	53,644,024

※ グリーンボンド：資金用途を環境改善効果のある事業に限定した債券

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
<b>補助事業</b>						
・令和2年度中小企業等に対する省エネルギー診断事業費補助金	経済産業省	0	407,163,995	407,163,995	0	—
小計		0	407,163,995	407,163,995	0	
<b>受託事業</b>						
・令和2年度エネルギー需給構造高度化対策に関する調査等事業	経済産業省	0	88,277,441	88,277,441	0	—
・令和2年度省エネルギー促進に向けた広報事業	経済産業省	0	25,365,036	25,365,036	0	—
・令和2年度国内における温室効果ガス排出削減・吸収量認証制度の実施委託業務	経済産業省	0	10,890,000	10,890,000	0	—
・令和2年度新興国等におけるエネルギー使用合理化等に資する事業	経済産業省	0	320,390,293	320,390,293	0	—
・令和2年度CO2削減ポテンシャル診断結果分析等委託業務	環境省	0	51,120,921	51,120,921	0	—
・令和2年度中小企業の環境経営とSDGs取組調査研究等業務	環境省	0	1,644,500	1,644,500	0	—
・その他受託事業	東京都ほか	0	105,587,359	105,587,359	0	—
小計		0	603,275,550	603,275,550	0	
合 計		0	1,010,439,545	1,010,439,545	0	

## 7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息の振替額	2,349,978
特定資産受取利息の振替額	860,765
合 計	3,210,743

## 8. 退職給付関係

### (1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

### (2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

退職給付債務	149,959,000
退職給付引当金	149,959,000

### (3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

勤務費用	15,340,774
退職給付費用	15,340,774

(注) 退職給付費用15,340,774円は、事業費の「給与手当等」に5,453,594円、管理費の「給与手当等」に9,887,180円計上している。

### (4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

## 9. 正味財産増減計算書に関する注記

管理費の「事業費への事務費振替額」187,088,478円は、間接部門で発生した事務費のうち、事業費に按分する金額であり、当該按分額は事業費の「その他事業費」に計上されている。

なお、その内訳は次のとおりである。

実施事業等会計	125,969,565円
その他会計	61,118,913円
合計	187,088,478円

## 10. 資産除去債務に関する注記

当法人は、不動産賃貸借契約に基づき、退去時における原状回復に係る債務を資産除去債務として認識している。なお、資産除去債務の負債計上に代えて、不動産賃貸借契約に関する敷金及び保証金の回収が最終的に見込めないと認められる金額を合理的に見積り、そのうち当期の負担に属する金額を費用に計上する方法によっている。

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区 分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	投資有価証券	248,656,357	73,507	0	248,729,864
	定期預金	226,343,643	0	73,507	226,270,136
	基本財産計	475,000,000	73,507	73,507	475,000,000
特定資産	運営強化等積立資産	1,806,601,883	0	111,485,123	1,695,116,760
	退職給付引当資産	198,384,200	0	48,425,200	149,959,000
	特定資産計	2,004,986,083	0	159,910,323	1,845,075,760

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	10,902,131	10,563,472	10,902,131	0	10,563,472
返品調整引当金	127,000	29,000	0	127,000	29,000
単行本在庫調整引当金	146,324	53,734	0	146,324	53,734
退職給付引当金	198,384,200	14,255,374	14,741,200	47,939,374	149,959,000

\* (当期減少額)

- ・返品調整引当金、単行本在庫調整引当金の「その他」欄は、引当金洗替えによる戻入分である。
- ・退職給付引当金の「その他」欄は、当期における退職一時金制度の改定に伴う取崩分である。

# 財 産 目 録

令和3年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部			
科 目	摘 要	金 額	
<b>I 流動資産</b>			<b>888,587,213</b>
現金及び預貯金		<b>298,793,533</b>	
	普通預金	1,183,069,814	
	みずほ銀行	9,155,971	
	三井住友銀行	1,167,979,476	
	三菱UFJ銀行	98,377	
	各支部	5,835,990	
	定期預金	539,656,800	
	みずほ銀行	50,083,800	
	三井住友銀行	489,573,000	
	当座預金	62,488,512	
	みずほ銀行	62,488,512	
	郵便貯金	2,329,781	
	固定資産（基本財産、特定資産）への振替額	△ 1,488,751,374	
	基本財産	△ 226,270,136	
	運営強化等積立資産	△ 1,112,522,238	
	退職給付積立資産	△ 149,959,000	
未 収 金		547,086,999	
	経済産業省補助収益	150,737,973	
	経済産業省受託収益	253,455,485	
	環境省受託収益	52,765,421	
	その他受託収益	55,432,686	
	講習・講座受講料	3,317,900	
	PR用品	8,580	
	その他未収金	31,368,954	
未 収 利 息		1,479,801	
商 掛		7,622,154	
製 品		1,614,512	
仕 掛		10,589,429	
	図書	4,729,367	
	雑誌製作費	3,327,500	
	次年度プロジェクト対応事業費	1,401,867	
貯 蔵 品		251,710	
	郵便切手・はがき等	175,310	
	収入印紙	76,400	
前 払 金		16,419,708	
	試験会場費他		
<b>II 固定資産</b>		<b>475,000,000</b>	<b>2,393,193,835</b>
(1)基本財産			
投資有価証券		248,729,864	
	公債等		
	日本高速道路債	99,850,235	
	国債	49,781,847	
	地方公共団体金融機構債	99,097,782	
定期預金		226,270,136	
	三井住友銀行	226,270,136	
(2)特定資産		<b>1,845,075,760</b>	
運営強化等積立資産	1,695,116,760		
退職給付積立資産	149,959,000		
(3)その他の固定資産		<b>73,118,075</b>	
造 作	事務所間仕切他	8,934,511	
什 器 備 品	パソコン他	560,652	
機 械 装 置	L A N用通信設備他	3,518,450	
ソ フ ト ウ ェ ア	システムソフト類	2,610,024	
電 話 加 入 権		2,841,592	
保 証 金	事務所借室保証金他	54,652,846	
<b>資 産 合 計</b>			<b>3,281,781,048</b>

(単位：円)

負債の部			
目	摘要	金額	金額
<b>I 流動負債</b>			<b>722,187,252</b>
短期借入金	借入先：三井住友銀行 500,000,000	500,000,000	
未払金	補助事業 12,678,923 受託事業 37,556,695 試験・講習事業 23,517,087 出版事業 9,318,886 教育事業 404,789 普及事業 48,541 その他事業費 2,093,227 管理費 6,925,479 旅費・謝金 34,852,748	127,396,375	
会費前受金	令和3年度賛助会費	61,619,010	
前受金	雑誌年間購読料、講座受講料等	12,977,540	
預り金	源泉所得税 7,210,440 社会保険料 243,751 住民税 2,093,600 その他 330	9,548,121	
賞与引当金		10,563,472	
返品調整引当金		29,000	
単行本在庫調整引当金		53,734	
<b>II 固定負債</b>			<b>149,959,000</b>
退職給付引当金		149,959,000	
<b>負債合計</b>			<b>872,146,252</b>
<b>差引：正味財産</b>			<b>2,409,634,796</b>

注)財産目録は、任意に作成したことから、公益会計基準(平成20年4月11日(平成21年10月16日改正)内閣府公益認定等委員会)の様式に準拠していない。

# 独立監査人の監査報告書

令和3年5月24日

一般財団法人省エネルギーセンター  
会長 藤 洋作 殿

大串公認会計士事務所

東京都中央区

公認会計士

大串 卓矢 

公認会計士岡田育大事務所

東京都港区

公認会計士

岡田 育大 

## 監査意見

私たちは、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第124条第2項第1号の規定に基づく監査に準じて、一般財団法人省エネルギーセンターの令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度の貸借対照表、損益計算書（公益法人会計基準に基づく「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私たちは、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私たちの責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私たちは、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## 財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

## 財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。

- ・財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・理事者が継続事業を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。
- ・財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

法人と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 監査報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの事業年度における会計及び業務について監査した結果を、次のとおり報告します。

### 記

#### 1 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、決算関係書類及び会計監査人が作成した会計監査報告を精査し、関係書類の正確性を確認しました。
- (2) 業務監査について、理事会その他の会議への出席や関係書類の閲覧等によって、業務執行の妥当性を確認しました。

#### 2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、これらの附属明細書及び財産目録は、当財団の収支及び財産の状況を正確に示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書は、当財団の事業の状況を正確に示しているものと認めます。

令和3年5月25日

一般財団法人 省エネルギーセンター

監事 齋藤弘明 

監事 大和田野芳郎 



## 監査報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの事業年度における公益目的支出計画実施報告書について監査した結果を、次のとおり報告します。

### 記

公益目的支出計画の実施状況について、関係書類の閲覧や事業報告の聴取等によって確認しました。その結果、公益目的支出計画実施報告書は、当財団の公益目的支出計画の実施状況を正確に示しているものと認めます。

令和3年5月25日

一般財団法人 省エネルギーセンター

監事 齋藤弘明 

監事 大和田野芳郎 